

① 記事に出てくる国「モロッコ」と、世界有数の大砂漠「サハラ」はそれぞれどこにあるでしょうか。地図帳などで探してみましょう。

アフリカ大陸の北西部～中央付近一帯を見てみましょう。

② 250^{キロ}はフルマラソン（42・195^{キロ}）何回分の距離になりますか。小数点以下を切り捨てて計算し、小数第一位を四捨五入して答えましょう。

$$250 \div 42 = 5.9523 \dots$$

$$= 6$$

答 6回分

③ 水岡さんのチャレンジを読んで、思ったことを自由にまとめてみましょう。

大分市の水岡さん 来春の「サハラマラソン」へ



挑戦 灼熱の250キロ

世界で最も過酷な長距離走の一つとされる「サハラマラソン」（モロッコ）に来春、大分市城崎町のフィットネスインストラクター水岡紗希さん35が初挑戦する。食料や寝袋など7日分の荷物を背負い、アフリカ大陸の灼熱の砂漠を250キロ走破するサバイバルレース。「応援してくれる人のためにも絶対完走したい」とトレーニングに励んでいる。

サハラマラソンは毎年4、33回目を迎え、多い年で1月に開かれ、日中気温50度、300人以上が出走した。前後の中で砂丘や岩場など、来春の大会まで7カ月の現道なき荒野を走る。来年で、在、水岡さんは毎週30、50キロ走破するサバイバルレース。「応援してくれる人のためにも絶対完走したい」とトレーニングに励んでいる。

「走るのには苦手だった」と、最初は3分走るのもやっとだった。指導を受けながら半年後にホノルルマラソンを完走。国内外の大会出場を重ね、結婚を機に2014年7月に大分へ。翌15年からサロマ湖100キロウルトラマラソン（北海道）を3年連続走破するなど新たなチャレンジを楽しむ。ウルトラマラソンを目指す愛好団体などによると、県内女性のサハラマラソン出場は珍しいという。渡航費などに充てるため、水岡さんは8月末からネットでの資金調達も始めた。走破するのは容易ではないが、「みんなが応援メッセージを書き込んでくれた『目の丸』をゴールで掲げたい」と意気込んでいる。

④ サハラマラソンの完走を目指す坂道トレーニングをする水岡紗希さん12日、大分市上野で完走して目の丸を掲げたいと意気込む水岡さん

（池田美香）

（2017年9月12日付夕刊社会面）

日ごろの訓練、度重なるマラソンへの挑戦もすごいし、走るのが苦手だった人がここまでやれるのもすごいですね。いろんなことを学べそうです。